

昨年に続き、

次世代を担う学生と企業が協働し、企画・制作。CSRへの取組みを記載した
「Eblo Report 2011」を発行しました。



「将来を描くきっかけとなった」

「本プロジェクトは就活に活かされ、
希望通りの会社に就職できました」

「面接時、完成したCOPを
持ち歩きながら、就活しました」

「読む側だけでなく、制作する側に立ち、
新たな視野を広げることができた」

Eblo Report 2011「編集後記」より

このプロジェクトは、昨年同様、ニッセイエブロ株式会社が加盟する国連グローバルコンパクトへ提出する活動報告書（COP〔Communication on Progress〕）の制作にあたり、武蔵野大学環境学部（矢内秋生 教授／学部長）佐々木重邦ゼミの活動として、同学部学生（2年生男子二名、4年生女子二名）とニッセイエブロ株式会社との協働により企画～制作を行いました。

昨今の厳しい就活状況の中、学生が日頃の研究を実践の場として、本プロジェクトに参加することは、学生、大学にとっても有益な機会であり、私たち企業にとっても「次世代の人材育成」に貢献できる取組みになると考えました。

昨年、本プロジェクトに参画した3名の同大学学生は、自身の就活において、全員早い時期に希望通りの結果を勝ち取ることが出来ました。学生は異口同音に「本プロジェクトが、就活に有効であった」と言っています。

このような取組みについて、学生の役割はとかく、企業へ行っても、お手伝い的な作業になりがちと聞かれます。

本プロジェクトは、全工程にわたって学生が企画・提案し、制作のディレクションを行うスタイルで進行、今回は2年生の男子メンバーが中心となって推進しました。10月には、コンセプトメイキングからラフデザイン、レイアウト構成、そして社員へのインタビューやアンケートによる調査を通しての取材、原稿案の執筆まで全て学生主導で行いました。

私たちは、これからもコミュニケーションの分野で、社会貢献への取組みを果たしていきます。

2012年1月

ニッセイエブロ株式会社 グローバル・コンパクト推進委員会